



国民民主党神奈川県連の 所属議員は13名に!

神奈川県連の
所属議員一覧



2021年県連発足時から**4倍増!**もっと仲間を増やします!

2021年2月にたった3名で発足した新・国民民主党神奈川県連は、その後の各級選挙で勝利を重ね、現在所属議員を13名まで増員することができました。これもひとえに神奈川県にお住いの有権者の皆さまのご支援とお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。

これからも所属議員全員が、皆様から託された期待と責任の重さを胸に刻み、より一層現場の声に耳を傾け、暮らしに直結する政策を国政のみならず県下各自治体でも実現してまいります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



国政選挙

2024年10月 衆議院議員選挙

深作ヘスス(神奈川県19区) 初当選

西岡義高(神奈川県18区) 初当選

地方議会議員選挙

本年7月

参議院議員選挙

かごしま彰宏(神奈川県選挙区) 初当選

本年2月

横浜市議員補欠選挙(南区)

熊本ちひろ 初当選

本年4月

鎌倉市議会議員選挙

大石かおり 初当選(トップ当選)

本年8月

横浜市議員補欠選挙(金沢区)

横溝じゅん子 初当選

参議院議員通常選挙で

かごしま彰宏が初当選!



令和7年7月20日執行の参議院選挙において国民民主党公認のかごしま彰宏が731,342票を獲得し初当選を果たしました。

神奈川県連にとって旧党以来3回目の参議院選挙で悲願で

あった神奈川の議席を獲得することができました。これにより衆参両院の国会議員を擁する県連となりました。

横浜市議員補欠選挙で

横溝じゅん子も初当選!



令和7年8月3日執行の横浜市議員補欠選挙(金沢区)において、国民民主党公認の横溝じゅん子が44,140票を獲得し、**自民党との一騎打ちを制して**初当選を果たしました。

これにより横浜市議会における国民民主党会派の人数は6人となり、**市会第5番目の会派となりました。**

次期衆議院議員総選挙では神奈川県第10区で(川崎市川崎区・幸区)

山口翔平さんを公認内定!



仲間を増やす。



候補者を募集中!

挑戦者求む! 応募要項はウラ面に!

来たるべき各級選挙(次期衆議院議員選挙、2027年統一地方選挙他)に向けて

候補者公募応募要項



来たれ!
解決のエキスパート!

応募資格

日本国籍を持ち、

- 衆議院議員選挙:投票日に満25歳以上であること
- 参議院議員選挙:選挙日に満30歳以上であること
- 地方議会議員選挙:投票日に満25歳以上であること

※女性候補者については立候補に当たっての支援を増額する制度があります。また、育児・介護の支援も行います。

応募書類

①応募用経歴書1通

※データ送付の場合は必ずPDF化すること

候補者公募ページからダウンロードできる所定の書式に、必要事項を漏れなく記入し、半年以内に撮影した顔写真を添付すること。



経歴書のフォーマット(PDF、XSLX)は神奈川県連の候補者公募ページでダウンロードできます。

②小論文(必須)

以下の3つのテーマへの回答となる論文1編を、2000字以内で作成・提出ください。

原稿はA4サイズを使用し、直筆・PC使用などは問いません。

1. 今の政治に対するあなたの考え。
2. 志す政治家像とあなたの覚悟。
3. なぜ国民民主党を選ぶのか。

- ※所定以外の送付物は審査の対象外ですのでご送付はお控え下さい。
- ※個人のプライバシーについては十分配慮し、秘密は厳守します。
- ※応募の際に提出された書類等は返却いたしませんのでご了承下さい。

応募書類を郵送の場合の送付先

※封筒には【応募書類在中】とお書きください。

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3890
国民民主党神奈川県総支部連合会



神奈川県連の候補者公募ページから
オンライン応募することもできます。

応募締切
2025年
10月31日
(金)

選考

- ご応募いただいた方の中から、書類選考・適性検査・面接試験などにより、これからの政治を担うにふさわしい人材であると判断する方を、国民民主党公認候補の「有資格登録者」とします。
- 選考は締切から1~2か月程度が目安ですが、遅れる場合もございます。結果については、可否に関わらず全員に通知します。

STEP1: 応募書類提出

STEP2: 一次選考(書類審査)

STEP3: 二次選考(面接)

STEP4: 最終選考

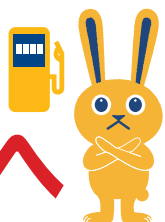
STEP5: 結果通知

1~2か月程度



国民民主党は公約実現に取り組んでいます。

ガソリン 暫定税率廃止へ



国民民主党は2021年の衆院選でガソリン暫定税率のトリガー条項凍結解除を公約に掲げ、他党に先駆けてガソリン価格の引き下げに取り組んできました。

実現に向け粘り強く交渉を重ねた結果、昨年12月には自民党・公明党と暫定税率の廃止で合意し、今年6月には超党派で提出した暫定税率廃止法案が衆議院で可決されるなど前進を続けてきました。参院選後の今年7月には、今回の選挙結果を受けて与野党6党が、年内のできるだけ早い時期にガソリン暫定税率を廃止することで合意しました。

障害児福祉の 所得制限撤廃



国民民主党は2022年の参院選以降、障害児福祉の所得制限撤廃を公約とし、法案を繰り返し提出するほか、2023年には岸田総理(当時)へ申し入れも行いました。

こうした取り組みの結果、2024年には補装具費支給制度の所得制限撤廃が実現しました。

その他の支援制度についても所得制限を撤廃するため、8月1日に障害児福祉にかかわる所得制限撤廃法案を再提出するなど、取り組みを続けています。

「対決より解決」で日本を動かす。国民民主党